

KOKUYO

No.3100
SPRING-A

昭和五年ニューズ綴

総経費
一冊
(送料別)
4550

V-SPRING-A

大の巻

123



三三三 15

昭和六年六月

社内保安検査を実施し 整備不良ヶ所の指摘

早期改善をうながす

本社が最近、生産活動の中心である工場内、特に作業現場において、安全衛生の確保を図るため、社内保安検査を実施した。検査の結果、全体的に安全衛生の意識は向上しているが、一部の作業現場において、安全衛生の意識が不足していることがわかった。特に、作業現場の整理整頓、作業員の安全装備の着用、作業方法の改善など、早期改善をうながす必要がある。また、作業現場の安全衛生の意識を向上させるため、社内保安検査を実施し、作業現場の安全衛生の意識を向上させる必要がある。また、作業現場の安全衛生の意識を向上させるため、社内保安検査を実施し、作業現場の安全衛生の意識を向上させる必要がある。

五月分生産奨励給は

標準日数が二五日で、出発実績は三六〇二の毛であり、
とし、次の通り決定致しました。

株 炭 一三〇以上	六三二円	四月分賃金総額
仕 掘 一四〇以上	五七九円	に付、また六日
内 働 一五〇以上	四三六円	一八日に支払う
坑 外 一六〇以上	三五八円	となり、また
一律配分六七六円	支給日六月一八日	



一九七〇年七月二日

各支路組合天
波

日亭實教勞切細合元州地方事歸
徵行委其夫

平和斗争推進について

此等諸君は、國議會に、四月六、七、八の三日に召集される議院選舉會に、山中中興、武野孫次郎、氏を候補者として立上、反響を蒙ることを期冀一試決志せしむ。

ついでに、自國進歩の爲めの黨は、開明から、一黨兩派進歩を平定に於けるに便があるとの、爲黨は、南米、吉山、等得議院立の地位を秘めてゐるといふことをする、黨院有期についで演説は、并短くして、いたゞ必要を警告を添附下さるやうに指示します。

三

一、夫年短少貧、家族の利根者歟、

支那聯合會で既に建設し進出している者の先有後至を容認し、

(出来れば長壽寺の長教と、戒律の歌碑名を記入のこと) 本書や五通儀附ぞ引たい。兩日は八月二〇の日を所定とする。(名姓があるところは直ちに添えられたい)

三、区域特征

世に名を知らず、ひそかに其の學を傳へたる。單號名、假號人貫、住所、代表者名、並に
本館設くは郵便事業の人共より好む。以上の報紙で誰一人取付か可敷と思われ
るどころについて引附の上掲載されぬ。八月一日のはまで。

文部省側面で批評、若くは評で責任をなしているが、又は又

で何らかの要求をしている府の長官、佐所について、八月一日の日まで

二、別当増進が確定していない今日では千原の帳をよめないが、建礼寺野所

板、ボスターの馬車多量行うニトドに費であるので延船等、其時迄の

に驚かしたつゝ、それらの数を大井として報告されたい。

六、
その
地

4 本件を以て解決するまでの間の裁判を要す

江州府志卷之四

而文士、各處學堂、文、武、事、業、大、家、一、下、三、千、餘、人。

三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

此二色相與外色相異

東京府立第一高等女学校 (校長)

三國竹書（云々） 無失讀代案とす。

金田村西側遺跡

國或可也。吾等評代表、社會批評者即代表、黨地共代表、社會全實

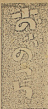
4. 要案は保護区外、地区保護地区外を置く、構成は後日判断する

四
時
時
時
時
各乘運時
支印運時

地	區	外
---	---	---

一、

421



日本共産党
昭和27年7月29日
東京市千代田区
麹町三丁目

期斗情報

昭和27年7月29日

期斗情報

九州三社31日に24時間ストライキ!

格差是正に全力を結集しよう

昭和四五年上期を来手基にツリマは、先の格差定期大会で要求額と斗争日
程についで確認されたが、先行斗争を遂げていた大手三社(三井、三菱、住友
北炭、太平洋)は、七月二八日一番方より二十四時間ストライキを繰り、格差的に
交渉を進めた結果、二七(午後二時)より交渉に達し、前期アタスハ、五
のりハ三、七、四であることを話した。

その他の支社は直ちに別途斗争に入るが、高松労働組合は中更む交渉を進め三
〇日に二十四時間ストライキを繰る。

九州三社の場合は二三日より支部代表者会議で定むように決定した。即ち

一、交渉方式はツリマ

二、労働組合を交渉とする。なお七月二四日付で交渉中入帳要求書を提出する。

三、交渉期間の期間について

七月三〇日の手基での期限は回答を求め、

七月三一日一番方より二十四時間ストライキに入る。

三、別途斗争の日程(格差是正)はツリマ

昨年下期と同様、交渉と九社三社の格差是正に主眼を置き、今期は格差期
正の力を順調に発揮することを期す。

格差期の見解を討ち

組合の期限付回答を要求する

二四日要求書を提出、その旨山元において事務所へ送付するが、別途斗争の主
眼である格差期は是正にツリマ組合と会社は全く討ち合っている。即ち組合はハ、二、四の格差
があり、主張するところから討ち合、会社はもとより大手と同一には二、四の格差があつたりを
あり、主張するところから討ち合、主張するところから討ち合、組合は会社と主張する
二九日別途斗争は要求した。二九日より交渉期間を短縮し、格差期を短縮する。格差期は二、四
は、見解を討ち合、二九日より交渉は順調に進むことを期す。

三、昭和四五年四月一日以降、手帳帳簿として使入れられ、手帳で引継ぎ支給日まで在籍する者
四月中に在入れられた者 一、一六〇〇円 五月中に在入れられた者 一、〇一〇〇円
六月 七、三〇〇円 七月 五、六〇〇円

但し、基礎期間中 臨時天として在籍していた者で、昭和四五年四月一日以降、本集録
助として在入れられた者に対しては、別に定める「臨時天に対し金一封支給の件」に基く支給
額と前勘金額を比較し、何れが高い方とする。

四、基礎期間中の病歿、公傷病による退職並びに萩原に登用された者、

イ、前記Aに準じて計算した額、但し家族給は支給しない。

ロ、昭和四五年四月一日から退職日まで、間、公私傷病の病欠動し、基礎領金を付し、
有に對しては、前記Bの一に準じて給とする。（家族給は支給しない）

五、基礎期間中の中途で労働組合業務（上初回分）と金を以下同様に、専従者となつた者や基礎
領金と有し、且つ場支日に労働組合専従者として在籍する者、

前記Bの四に準じて計算した額（労働組合業務専従期間中の在籍回数には算入しない）

六、基礎期間中の中途で労働組合業務専従者から転出に復帰した者で、基礎領金を有し、且
つ場支日まで引継ぎ在籍する者、前記Aに準じて計算した額、但し労働組合専従期間は基
礎期間中の在籍月数には算入しない。

C、前記A並にBの金額より Dの金額を差引いた金額を臨時に支給する。

ロ、控除金 1. 勤労加増税 2. 失業保険料 3. 天收入 4. 組合徴収金

E、支給期日 通つて満期する。



（原稿）大野 明

105
9月
公休

6日
13日

20日
27日

295.9.1

八月出炭実績 三、九〇四屯
生産奨励給（平均）九、三〇〇円

生產獎勵給(平均)九三〇四

[illegible]

九月出炭目標二九八〇吨！

[illegible]

防災成績

八回には同じく「千両」で、お宝と悪しはつてゐる。お宝は
皇族と、其の父を護衛するが、因に非難を蒙る。お宝は
いふ、此の物語は、さうよく的を得てゐる。

保安靴補助問題解決 //

得安起盜に挿入 災害を避るに

[illegible][illegible]

出炭計圖表

工作	长度	角度	高度	数量	重量	日期	其他
上杆下叉	180	120	82	99	445	26	17572
拆表出表时	180	120	82	99	445	26	17972
新杆米/新表出表时					180	26	4680
新水刀/新表出表时					330	26	8580
水刀拆表出表时					510	26	13260
行	行				952	26	24830
							$955 \times 12 \times 26 = 29800 \text{ 吨}$

$$955 \times 1.2 \times 26 = 29800 \text{ 吨}$$

保安靴の普及について

堅執つる者にては、昨春一月のふまに、本寺より相違、皆々を自他として定評し傳へ、終つては、
はなつてまたか、下座を明し、さうして人は何ぞ歟、と云ふの次第には、ともていふ、

[illegible][illegible]

2. 植物界については、植物学と云ふ

ふ、天候影響史については、更に地味な研究を要する。

— 保安龍煙糖及心壳店茶飯 —

鍋上	御侍	付(金)	2,470
短		靴(金)	1,620
保	靴	鍋上	1,600
弦	山	靴(金)	2,470
長	編	上	2,470
半	長	靴(金)	2,600
長	編	上	2,470
ゴ	ム	長(金)	1,100
ノ	リ	付(金)	900
火	ツ	7(金)	600
弦	山	靴(金)	1,650
半	居	地	650
編	上	付(金)	1,400
ゴ	ム	長(金)	1,600

新上野下三尺松計圖表 9月~11月

計測所	尺目	9月 26	10月 27	11月 28
新上野下三尺	下三尺	120	120	120
松長		180m	180m	180m
平均道幅		1.2m/尺	1.3m/尺	1.4m/尺

新上野 水掘り図表 採炭計表

計測所	人員	運搬体	9月 26	10月 27	11月 28
新上野	2×3	12	①		
・ 7・	・	110	②		
・ 8・ 4分	・	70		③	
・ 8・	・	30		④	
・ 0・	・	40		⑤	
定ゲート	・	100		⑥	⑦

新上野 水掘り図表 採炭計表

計測所	人員	運搬体	9月 26	10月 27	11月 28
新上野 8分	2×3	12	①		
・ 7・	・	110	②		
・ 8・ 4分	・	70		③	
・ 8・	・	30		④	
・ 0・	・	40		⑤	
定ゲート	・	100		⑥	⑦

9月 10月 11月

月生炭数	14,570kg	15,130kg	14,010kg
・ 炭数	12,142kg	12,600kg	11,675kg
一人炭量	4.9=467kg	炭量	炭量
炭 量	120	炭量	炭量

採炭計表

計測所	人員	運搬体	9月 26	10月 27	11月 28
新上野	2×3	12	①		
・ 7・	・	110	②		
・ 8・ 4分	・	70		③	
・ 8・	・	30		④	
・ 0・	・	40		⑤	
定ゲート	・	100		⑥	⑦

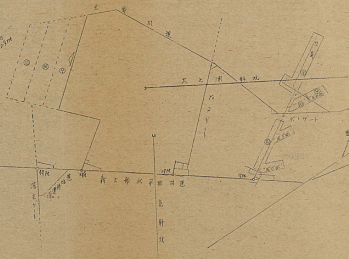
採炭計表

計測所	人員	運搬体	9月 26	10月 27	11月 28
新上野 7分	2×3	12	①		
・ 7・	・	110	②		
・ 8・ 4分	・	70		③	
・ 8・	・	30		④	
・ 0・	・	40		⑤	
定ゲート	・	100		⑥	⑦

新橋右五坑探掘計劃圖



新上郭下三尺板及水探計劃圖



統一地方選挙に關する銓衡委員會の経過

[illegible]

一公認陸軍の定数について

執筆するに於ては、その過程で一先論議と置か、既成とせしものが、いづれかの論議との
 問題となる。われわれは昭和四年年度の調査資料の中を研究家等につけては組織の
 公開資料とせよとを建議した。必要であれば、上組織であることが資料事件となり
 公開可能な資料と認定することも必要である。したがって、執筆論文を二つに就ころ
 なづかにし、その論議をつくしたものである。客観的には、公開候補は二篇、という先づに
 したことが、思ひのうちに断ち切られてゐる。

人、當時の状況、町民の意見の強弱は、大なるものである。現在の路案を判断される各公使、皆これと諸般の意見は、面と面（二重）關係の點に、とられてゐる。一、一月二日、現在の路案の取扱が如何、と、田中氏とある。按、案書に「これのこと」とある。田中氏と對する、と五九二番とある。路案が定つてゐる。い、わゆる、路案の二重の關係が、如何に、可成る關係にある。

又、前回選挙権が与へた公認候補は二名であつた。若に上位勢を勝つたが、此の公認候補七名の間に付し、その後の自然減耗や選挙一月の高令者の希望退職等によつて二月二十四日現在の組合員数は五三九名である。

ま、旧盟は、新盟に比して、盟主の純粋性の損傷（率10%）の程度より大なる場合、組員の割当率に對して、盟員に於て6%、最勝のものは20%、その他とであらう。前記組合盟員に就て算定する場合に、五五五（五九〇%）、三三三（三九〇%）の三組算定率をも盟員にのみにしても、計算すると七一六（七一六%）であることは、いかに明白な場合、選挙は盟員の批准とある。組合盟員は現在より若干を主張するところ、折一をわかつてはならぬ。

4. 居住区内は、日全全下り、内外全社の建築費や修繕費の増大も多数居住して

る。したがってこれらの数も期待可能性があるものとみなさるべきか、どうか。
総務委員会は承認したところである。しかし、当分ばかりの組織的進歩の限りや、連
合組織の呼かけに待つる態度で、まづの組織の整備を急ぐべき場合、この進歩を急
る以上根本的な改革を急ぐためには、あくまでも組合員と代表とをいかに結びつけ
なければならないと判断した。

よ、また最近の傾向として多くの事情が次第に生じている。町民会議員といふ小さな各
別の進歩数であるのを、抑々である組織や進歩してゐる組織がかりのしめつけが、こ
れも急務であるからである。したがって我々（二・五）や市面（一・四）（調査部）に
ついて、もつと急ぐべきが我々が必要ではないかといふことは、急務である。

も、国の政策によつて進歩が左右されるわれわれ庶民の立場に立つて、町民会といふ
むづかしいものである。進歩も速く進むことは、われわれの利益があることはいふまでも
ないが、総務委員会は各社の分断のみになつて、進歩とつては進歩を待たないといふ
定むとするならば、公認候補は一名が代表であるといふ組織に違ひないのである。

二、公認希望者の受け付けと手続について

公認候補の登録について候補を付たて、希望者の受け付けと手続について次の手
順で行ふことにした。

一、公認希望者の受け付けは、一月四日より九日までの期間とし、受け付け時間は午前九時
より午後四時までとする。

二、公認希望者は、手続上は必要は用紙（公認願書、四の五）を提出用紙（二）に記入し、
署名、住所の上原市街に地方自治に對する信念、祝詞を書き添へる。

三、署名は本人の所屬する居住地を念頭に置いて、または本人が選挙区に行ふこと、
手続上は必要は用紙は、各居住区を念頭に添へる。

四、公認希望者の受け付けと候補となつて、総務委員会は早速に選挙区の候補を行ふ。

三、総務委員会であること、同題

以上のようは候補に送つた公認希望者は、おのづから調査し、各別の候補を
行つた。また各選挙区から選挙の問題を指摘され、提議を小の町、町民会と組合と
の組織、政治的と地域活動、市民運動と関係、公認の受け付け、各々の組織、組織と政治
の問題である。いずれも重要は問題であるが、公認には組織の進歩や運動といふこと
選挙の問題である。今世の運動の中で急ぐべきこととした。

公認候補の経歴基準

一 大之頭官の地位の経歴であること

二 公選候補の経歴であるものは、市役の明帳に記入し、通達は公金を以て、経費を認め、提出して

経費基準

一 経費

と経費に充てられるもの

二 経費に充てられるもの

三 経費に充てられるもの

四 経費に充てられるもの

五 経費に充てられるもの

以上

財政府

要求書 (案)

一、中央集中が出されたが、昭和九年以降の財政年度の決算や特別問題等は未納者等に懸された。謝辞に委員
会を以て財政年度決算の本を交付すること。

一、本年度までの間、緊急特別費等の給を行き、国庫の危機がわきまされている有力後援者の利益を減じ
ること。

一、救済費の増額を認めた上でも、労働者及び一般消費者の利益を損くた。特別国庫交付金を配る及
行の一回以上増額を認めた上でも、労働者の利益を、未納金(一〇〇万)引換券に代り(とく)、社内強
金の一〇〇万を一括支給すること。

また、一般債権を第二次買取り業務と同様の保証を行なうこと。

一、やむを得ず当面閉山を金額をなくされる財政について、救済者対策の究明について、救済のため救済
にかけ、救済、この間の生活保証、自費者の自金救済の充てをせよこと。

また、救済業務の維持、資金の導入を行なうこと。

一、大東部の予防対策及び安定地区の確保をめぐり、市内市街地建設のふくれを昭和八年までに解消するため、
産業を奨励を行なうこと。これと同時に、市内市街地の増進を引き上げ、昭和九年七〇万、一般生活
費一〇万、保安維持費八〇万、区域変更の出資(市街地建設とも)八〇万とすること。また、一、ダート
リ補助金増額の引き上げ、維持増進の補助金増額を行ない、以上の措置に必要な予算の確保をせよこと。
一、保安費用増額の補助金増額の拡大をせよこと。とくに市内市街地建設については、ただちに対象増額
とすること。また、補助金を引き上げること。

一、近代化資金増額増進を充てし、救済増進(市街地建設)の増進増進、保安費用増額の増進増進に付する完
全減額を行なうこと。救済対策、救済増進および救済増進の拡大をせよこと。また、近代化増進増進増進を
充てし、貸付増進の拡大(商品についても対象とすること)、貸付料、貸付手数料の引き下げ等を行なう
こと。

一、住宅増進改善資金を確保するとともに利率の引き下げをせよこと。

一、一般対策のため。

一、安定補助金を助成金を引き上げること。

一、救済増進の研究開発を進めに行なうこと。

一、救済増進の改善を行なう。企業金利を減額し、貸付方式の増進と増進の拡大をせよこと。

一、国庫の引き上げとあわせて、短期引取交付金制度を再検討すること。

一、第一次、第二次買取りに付して、政府関係及び金融関係の確保を決定してあわせて手はずすること。

一、銀行の財政監督者規制にこれを批判に批判すること。

対資本

要 求 書 (案)

- 一、企業別に経営の要点を明らかにせよ。例えば、資金不足の解消、世代交代、新資金、補助金、借入金、貸付金、株主、債権、借入金、等の資金のやり取り(貸付)の状況を明らかにせよ。
- 一、企業内に於ける経営の要点を明らかにせよ。
- 一、経営者としてこの要点を克服の道を明示せよ。
- 一、社内労働環境に対する経営の計画と実行の経過を明示せよ。
- 一、経営者として、経営の場合何なる方法で競争及び危機を克服するかの、具体的に明示せよ。
- 一、貸付金及び借入金関係に対する考え方を具体的に示せ。
- 一、労働者の賃金及び労働条件についての二年間の経過と企業運営に与っている考え方を明らかにせよ。



産業高度化推進機構
理事長 久野 隆
副理事長 中野 隆雄
代表理事 中野 隆雄

No. 8
S.45.10.1

生産奨励給(九月分)

一人当り平均 二,一九〇〇円

九月出炭実績 三七,五九三吨

十月生産計画 三二,一〇〇屯を確認

九月の出炭計画は、煤勘方数二六万で、二九八〇〇屯と八月の生産奨励給会場で確
誤、出炭に取組むで来民、月初めは特調車溜り出して、三〇万前後を推計して連日
精一廿の努力をして来民。しかしながら月末にリッパ直下の親馬道の陥落、ロシア
松の増産努力が、最終的に三七,五九三屯、一二六万をメスすることになった。

一ヶ月と通じて全体的に煤勘方、その理由としては前掲の水探の好転や、故障が所
のづかづかことが上ずられる。しかし何と云っても必要資金が、結果的にまかつ
にことが起降していることは見逃すべし。

十月の計画は、九月の特調車溜りまことに負けるけれど、問題は数多くあることを
先づ水探の右側探出、神領と南探出機、ロシア松の天井落化、故障、運搬問題、春の
対策も充分に取り組んで解決しないとは、煤勘方減は避けられ、しびるつて生産急務で
は上記問題を向視して、三二,一〇〇屯を確認した。各別出炭計画次の通り。

防炭成績は、九月は前掲の、名で、〇,三七一の千分平
と達成、これも出炭目標の、四五がすれは、大差ない成
績である。

却退別では、千三石、足一石、勝三石
しかが、昨年度でも充分な注意を払うつ、好成績
を十月に内めかちながら努力しよう

十月の計画は、九月の特調車溜りまことに負けるけれど、問題は数多くあることを

先づ水探の右側探出、神領と南探出機、ロシア松の天井落化、故障、運搬問題、春の

対策も充分に取り組んで解決しないとは、煤勘方減は避けられ、しびるつて生産急務で

は上記問題を向視して、三二,一〇〇屯を確認した。各別出炭計画次の通り。

防炭成績は、九月は前掲の、名で、〇,三七一の千分平

と達成、これも出炭目標の、四五がすれは、大差ない成

績である。

却退別では、千三石、足一石、勝三石

しかが、昨年度でも充分な注意を払うつ、好成績

を十月に内めかちながら努力しよう

十月の計画は、九月の特調車溜りまことに負けるけれど、問題は数多くあることを

先づ水探の右側探出、神領と南探出機、ロシア松の天井落化、故障、運搬問題、春の

対策も充分に取り組んで解決しないとは、煤勘方減は避けられ、しびるつて生産急務で

は上記問題を向視して、三二,一〇〇屯を確認した。各別出炭計画次の通り。

防炭成績は、九月は前掲の、名で、〇,三七一の千分平

と達成、これも出炭目標の、四五がすれは、大差ない成

10月 出炭計画表

場所名	出炭	在庫	平均	残炭	貯金	減産%	日産
新上郎千三尺	160	119	82	93	4 ⁴⁰	441	27
前江郎水田探炭						180	2
前江郎水田探炭						340	27
合計						961	27

961 x 1.2 x 27 = 31,100 屯

十月の、公休日

四、十一、十八、二十五、の各日曜日

煤勘方数 二七方

健全日 保険運動をばかる 新しい役員決る

大塚町健康保険組合はこの組合にも種々事とか、よく、財政的に苦しい、運営を
とらいつて、他の健康保険組合と同じように、目的の理念も若しいやうくを
している、しかし、前回の様元やその従って、精神の努力がなされてくる。

そのうちで、本年も健康保険連の時期となり、互選期の間組合も健全の旗を高く
掲げて、全員の運動を行い、次の選挙、健康、新しい決意を定むこととなつた。

理事長 寺田 清祐 常任理事 大山 啓次郎

大と須成 祐郎

理事 寺田 清祐 (連選期) 宮田 忠司 (連選期)

村山 善吉 (互選期) 田中 重 (互選期)

坂本 忠吉 (・・) 佐田 順 (・・)

救急車 消防バスについて

健康保険組合では、従来救急車、消防バスの運行を行つて来たが、財政面から維持
費が高くなり、相互に負担として来たけれども、車費をバスにしようと思つたのを
理由に中止することになった。

しかし、それ以外のものとして、互選期より早く中入れ、前回は
町民救急車のマウロバスを、今迄通りアライヤと運行

救急車は、町民救急車と合流の上、消防署の救急車を依頼することとなつた。

若の救急車は、スースと安定しているが、全体的場合には、宮田善吉、二九
番に連絡をとれ、連絡程度であれば活用は出来ます。

全 秋の交通安全運動を展開 宮田町独自の実施項目で

目的

無事故に取り組み

期間 準備期間 九月二日 から 十月 五日

実施期間 十月 六日 から 十月 五日

車及自転車の運行の事故防止、特に子供、老人の事故防止

交通安全運動は、交通安全の要諦



死んでいるが、他人の住居をがら取り立てられている。(相しと他は國府)

文化厚生施設

どこの書院に行つてもある即ち此の書院がでさぬ文化書院（フナタ）があり、陸軍校役やフットボール（サッカー）のやせる大きなスワジヤムが組織されてゐる。幾つもの書院で試合が闘はれてゐた。最近の地連は指導してゐる。このフナタの中からは、幾つもの書院を送り、或る数人が出来るに組込んでつゝいてゐる。どうして其の連の教育に力を入れているか、其の設備と文化は比較、ヤヤンブ島は常々其の指導が出来た。此になつてゐる。

厚生施設がなりを失ひてゐり、とくに貧病者の健康増進には劣るべくつてゐる。

名保東州に説法、起教（南注）は學問に入らず、守初教の地に毎日苦行を度ける

こともできる。大くせうすべし、海軍線は投網されてゐる。われわれが威光をもつてゐる。

はすナトリウムであつた。ナトリウムといふものは養ふと云ふので同様に、飼ふといふ

乍ら知識をすすむ教授であり、こゝから演説するのである。――私がつて貴族院の横暴

の病氣の荷は、親戚・近所・初うくとくみである。氏、うい衆の内、爲も回教も多し。

の概況にすうさつていふ、概甲は月二回日（日曜は暴風州）で一人一〇ル

山へ登る。○○の山へは、先づ、院前、年入の墓に、一、九、九、一、十、九、(天、○○の山へ、

[illegible]

「テナー」の愛用がある。

なして、これらの厚生施設、文芸、製菓、体育の施設は全部組合の所有（管理）である。

り、各都道府県の労働組合の全代会（組合委員長会）が総連連盟をつくっている。

ハンガリー

一〇月七日より一六日まで滞在した。ハンガリーは人口一〇〇〇万人の小さな範囲であつた。首都であるブダペストに宿をとリ、各地に出掛けることにした。

あるに、
空想であるフダベストに類をとり、各地に出張することにし、

是は、東にありて

本館は東京にあるが、各都市の「マクリーン」様邸と、西にある「データ・ニア」の十三

然るに、つたのは上子に通知がならず、とうに、か所著の日本語とを通知せしむいたの、特に、差延の算術的解説が聞かれなかつたことである。

幼稚園の組織

社会主義の国であるから、労働組合は、一つにまとまらなければならないといふまでもないが、炭鉱労働者の場合は、一鉱山労働組合として、石炭、金属鉱山、ウラン鉱山とそれぞれ開採業務の労働者を各々の産業別に一本の組織に収めていく。組合員数は一七五万人、連立労働組合の組合員は二七五万人を構成しており、其の議長のZ. 名が常任としており、その下に五つの専門部（政治、経済、生産、保健、文化、体育）が設け、各座長が統率されてゐる。

ハ、何れに（一の東歐諸國も同じ）の場合、ソビエトを造るのは、労働者が何から
の革命によつて權力を握つたのとははく、第二次大戦のソビエト聯には、こゝで
解説した、労働組合が労働者（共産黨）に力を与へるものとしてやつと生れ出した
義である。したがつて、勞働より労働連砌の方が先である。労働連砌の中から労働
的學生組織という歴史がある。それと共に労働團體に關する行政は組合の了解（調
印）なしには出来ない仕組みになつてゐる。

組合費は月給の一分　この内五〇分を中央に上納　残りを山元の組合が使つ

勞勿桑碑

前述のように、車載が「下手な尺数字」の単位がはつきりつめないが、中英混合の、
モン録は、時限では、祇山所切有が、金産の中で、一番高く、倍産と西とするなら、一
四〇とあり、その中でも、最祇山所切有は、高く、一五二とあるとあら、最も金産
は、金産より、五とある、四五から、……、錦は、月産の、五……、八〇とあり、くいる
祇山所切有の、月産は、約四〇〇とプリント（四〇、〇〇の、日産）が、初時間には、八時間、停
休は、三〇日

No. 9
\$45.11.3

生産獎勵税(一。目次)
一人当り平均九.九〇。四

一〇月分出炭実績 三六、四八八屯

二月生産計画二九〇〇屯を確言

一、目の出展品は、蔵書有数二万で三二・〇％、九月の庄園奉還会で増設
品展に収めぬまま、各町長一軒の努力して未だ不足の一八・九％を充填と
上げて未だ六、七割程度の僅、ロシアン館の展覧に準じ最終的には二七割まで一日も遅
るることには、

勝大木戸跡處を登つて故蹟　園池とあると、ロンドンでモーター焼損、二名がオート
車体毀滅、ベツヘギヤードモーター引續及ハ輪落三件上御で高庄モーター、郵便で
ベツヘギヤード切札、モーター製造者が救はれる。

一、一月の生産計画は、生産阻害と云ふ要素、設備等と収りの定くことを討議し、二、五方、三九、〇〇點と生産率費金を確認した。

前次成績は、昨日に比べ一〇月は一三九の増幅若と減ずに至った。從つて今月半までは、
 〇・二一三と大巾に落ちつてゐる。しかし、比較的輕微傷が多く、衣替中の幸であつた。
 屋敷刺では、重傷 4 角、輕傷 九角、計一三九
 振替では、手 5 角、足 5 角、顔體 環

車費	8.00
	5.00
	5.00
	3.75
	1.75

名々ノ如計二三知となつてゐる。
今僕とも、佛客堂裏主義で日々の作業に耽り組んで
いさませう。

二月十六日(二〇日)

保安實施項目

今日の標準は、金銀一貫に清火窓の取付短口について、及び其の使用方法について、各府方入坑時、繰込において実施することと決定し、

一日の公休日

一、八一五、二二、二九の各日旺

11月 出炭計画表

工 种 名	人数	在籍%	就业	能年	工资类	日数	月工资
新上翻水工煤炭	150	118	81	96	4.50	432	25 10.800
新上翻水工煤炭						180	25 4.500
新上翻水工煤炭						340	25 8.500
非编煤炭						15	25 375
合 计						967	25 24.175

$$0.5\pi \times 2.5 \times 1.2 = 29000 \text{ 吨}$$

石炭「答申」 11月7日に延ぶ

内容を不満として 山本委員長席を立つ

われわれは石炭産業の労働者として、昭和元年以後、特別委員長の答申に希望を
込めて今日まで来た。その要旨の内容も、石炭情勢の悪化に伴って、最悪の要求とし

て、① 石炭産業は戦争が切迫せざる限り、最善の用を尽すこと。② 昭和九年
以降も石炭労働会社による賃金増進の請求を断念すること。③ 労働条件、特に賃金、
期末手給については古案を適用すること。④ 労使を維持すること。

以上の四款について、主張として来たが、11月2日に答申されたようにして、昭和九年の
は、全くわれわれの要求を無視したものであつた。したがって、メンバーの一筋であつた
山本、炭労委員長は不満の甚き表現して、最善の用を尽すに到らず、以後炭労の
要求の話し合いに前すること、五日間延期、と日答申といふ方向に決つた。

炭労としては、答申の内容の難しさを批判して、11月4日から日開演説され、
文芸回炭労大会で内容の暴露を行い、秋から春まで、機関紙を多く出版、拒絶する。

昭和九年下期々本手給は、大会決定後、炭労委員会は、要求額は一、二万二千円、格
差非協同議に、大手光計社は、28日に炭工と提携を打ち、したがって、われわれに
違ふループは、12月初旬になつてあつた。

「福岡県民大集会」 十一月八日、平和台球場

一人一人の結集を、参加させよう

一人一人の結集を、参加させよう

出資の額は、何のビシもないままに、請求をけいさとして、アメリカ炭産と現地の
体制崩壊のため、第四次炭産内閣の組織を急いでいる。われわれには何をやつくればか
を希望者のビジミとして、公者は人財を正しはみ、生活必需品は他国へ入手よつてゐる。

われわれはこれではいゝか……「露評」と中にどした否置で、秋から春への斗争
の一種として上院院政問題と結合して、大急進運動の拡大、期本、賃金の大巾引上げ
とスロウガンに、銀平下組台、一五万人を動員、低炭及動内打倒、参事院執行側の決起
集会と平和台球場で開催することとなつた。 ※ 翌日は、一〇五名参加、九時四五
分に集会前と開始バスを出発、八時半着、中食は組合で準備とします。

11.8 福岡集會・貸切バス配車一覽表

直轄

車号	バス名	配車場 所	貸切責任車組	來車車組並 人員	至由	貸切金	貸切代
1	団休	鞍牛役場前	全田組 親分會	自営親分會 50	栗 岡	21 000	
2			鹿男會	鞍牛會 17 鹿男會 42			3500
3				鹿男會	50		
4		藤井溝道 郡六	藤井會	自営藤井會	60 八木山	19 000	
5				60	八木山	19 000	
1	西 筑	小竹役場前	高取組	高取組	50	19 000	
2		高取組	高取組 25 高取組 14		19 000	450	
3		高取組	高取組	50 大 崎	18 500		
4		高取組	高取組 31 高取組 5 鹿男 10		19 000	420	
5		高取組	高取組	50	20 000		
6				50	20 000		
7				50	20 000		
8		高取組	高取組	48	19 000		
9		高取組	高取組	50	19 000		
10				48	19 000		
11		高取組	高取組	50	19 000		
12				50	19 000		
13		高取組	高取組 29 高取組 15			440	
14		高取組	高取組 26 高取組 15		18 500	450	
15		高取組	高取組	50 栗 岡	21 500		
16			高取組 24 高取組 2 鹿男 2 鹿男 2		21 500	450	
17		高取組	高取組	50 八木山	21 500		
18					21 500		
19					21 500		
20					21 500		
21				高取組 24 高取組 15	21 500		
22		高取組	高取組	50	21 500		
23				50	21 500		
24				50	21 500		
25				50	21 500		
26		高取組	高取組	50	21 500		
27				50	21 500		
28				50	21 500		
29				50	21 500		
30				高取組 15 高取組 5 高取組 10	大 崎	21 500	
					213 000		

11.8 知事選権刊摘図集 参加要領

- 主催 社会党 共産党 緑党 選挙権文化人の四名実行
- 集金場所 福岡市平和市民館（電車駅より徒歩10分、平和市民館前下車）
- 平和市民館の裏側にはバックネット裏（緑党の正副代表が控えている）
- 見客集合の日の組合費などは特等しなくてよい。但し入金の責任者と集金の代表者は従事すること（会場入り口（緑党・共産党）で必ず名前を記入）
- 福岡市バスは（緑党の集金は16時45分、共産党は17時のバス）集合場所は平和市民館前に集合すること。× 新聞紙、サブテン持参のこと
- 集金は午後1時より約1時30分～30分程度
- 集金の後はバスで平和市民館（緑党・共産党）へ送迎
- 集金後は平和市民館で飲み会（平和市民館のバスで平和市民館へ送迎して平和市民館へ送迎）
- 平和市民館前には集合なし。集合場所は平和市民館のこと
- 福岡市バスの乗車は原則として当日。地区別に送迎のこと
- 集金後は平和市民館で飲み会（平和市民館のバスで平和市民館へ送迎して平和市民館へ送迎）
- 送迎バスは平和市民館で集合。平和市民館で集合（平和市民館で集合）
- 平和市民館は平和市民館で集合。平和市民館で集合（平和市民館で集合）

各組別貸切料金の負担額

組名	乗車人数	人員	合計料金	備 考
組名	9	375	154,560	
組名	12	487	203,750	
組名	5	290	123,900	
組名	2	102	35,700	
組名	2	77	31,750	
組名	2	120	38,000	
組名	2	78	38,000	
組名	1	31	13,020	
組名	1	10	4,200	
組名	3	150	60,000	
組名	1	3	1,350	
組名	1	5	2,050	
組名	1	10	4,500	
組名			766,780	

※ 月末日で領収書本割で返納の上は主幹。他は月末日で返納月へ。

明るい民主県市政をつくる県民大集会 多賀谷真織 県知事出馬を表明

明るい民主県市政をつくる県民大集会は、晴大に恵まれて、成程佳に終りました。飽美の、カヌレ、参加された皆さんには大変迷惑をかけました。

本集会は十一月八日(日)十五万人を平和台臨場し集めて、午後一時、開会し、新党組からバス二台に分乗、やがて大入湖沿組の一行と、三百つらぬて参加大集会は、冒険、成田参府政、市川徳評議院の挨拶があり、

続いた。河野、山、県民会長の懇話会、候補の選定についての経過報告、留せて参府正回におこわしい候補者選定の決意表明があつた。壇上に登壇されたのは、多賀谷、真織、社会党支部長である。

多賀谷氏は、私は党の代表を表明が選任にが副選した。中央政治と直結している機関、県政にクビを入れ、四〇〇万県民の皆さんにこたえて、明るい民主政治をはかるための、本日も、に集会等には候補することも要請した。したがって、現職知事は、一三〇〇日と選

参連助に力を注いで今日に到つており、今、決意として、残る一五〇日と闘うと信ずると、相手の一〇倍努力しねければならぬ。それを信じて出来ぬのは県民の皆さん一人一人の力でありませう。参連佐所代、現知事が、選挙時代に件わした、勿論、問題とも機関の政務で、そのことを言せと見えていませう。……と挨拶会場は騒然と「地球れ多賀谷」の叫び、また、大集会の幕を閉じた。



川崎の多賀谷会での集会

新上部下口尺扣計畫表 (昭和5年11月-46年1月)

材料	尺別	1月 (25)	12月 (26)	1月 (26)
新上部	5尺			
下部尺	1尺			
扣束		150m	130m	100m
新上部		1.4%	1.6%	1.9%

新上部計畫表

材料	尺別	1月 (25)	12月 (26)	1月 (26)
新上部	5尺			
下部尺	1尺			
扣束		150m	130m	100m
新上部		1.4%	1.6%	1.9%

新上部計畫表

材料	尺別	1月 (25)	12月 (26)	1月 (26)
新上部	5尺			
下部尺	1尺			
扣束		150m	130m	100m
新上部		1.4%	1.6%	1.9%

新上部計畫表

材料	尺別	1月 (25)	12月 (26)	1月 (26)
新上部	5尺			
下部尺	1尺			
扣束		150m	130m	100m
新上部		1.4%	1.6%	1.9%

新上部計畫表

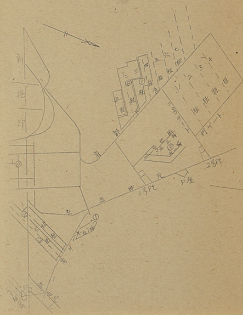
材料	尺別	1月 (25)	12月 (26)	1月 (26)
新上部	5尺			
下部尺	1尺			
扣束		150m	130m	100m
新上部		1.4%	1.6%	1.9%

一 船 塢 進 業 省 計 圖 表

業者名	作業別	材料	労務	機械	通算	11月 (25)	12月 (26)	1月 (24)	備考
堀川	4x2	新上砂2400 + 運搬地盤 + 運搬枕石 + 運搬枕石	20 99 31 748 40 10 181 2 228 748 4 40 748			① ②		③	右主入道一晩繰上げ 11月25日付付託 11月29日付付託
富士宮	4x2	新上砂2400 + 運搬地盤 + 運搬枕石 + 運搬枕石 + 運搬枕石 + 運搬枕石	13 12 3 748 114 30 12 18 178 818 12 181 2 128 748 260 126 158 174 18			① ② ③		④	
蒲賀	6x2	新上砂2400 + 運搬地盤 + 運搬枕石 + 運搬枕石	100 66 96 248 6 15 18 248 5 128 748 3 260 126 158 174 18			① ② ③ ④		⑤ ⑥ ⑦ ⑧	
一般型	4x3 8x3	右主入道 + 運搬地盤 + 運搬枕石 + 運搬枕石 + 運搬枕石 + 運搬枕石	360 99 263 174 26 12 18 178 818 10 18 248 5 128 748 3 260 126 158 174 18			① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩		⑪ ⑫ ⑬ ⑭	12月9日付付託 12月11日付付託 12月20日付付託

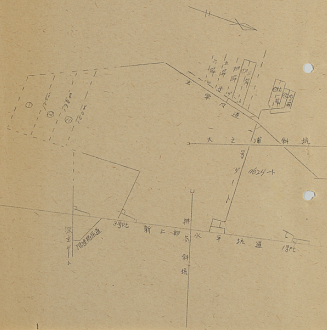
新港左五凡林路剖面图

图尺三寸二分



新港下部尺林及水林剖面图

图尺三寸二分



要 求 書

昭和十五年十一月一日

高松市 中区 高松市 組合 会 議
 高松市 北区 高松市 組合 会 議
 高松市 南区 高松市 組合 会 議
 高松市 東区 高松市 組合 会 議
 高松市 西区 高松市 組合 会 議

議長 許 賢 孝 氏

殿

高松市を中核とする市民生活の情勢を基礎として成長に促進し、経済を振興し、社会を安んずる。高松市を中核とする市民生活の情勢を基礎として成長に促進し、経済を振興し、社会を安んずる。高松市を中核とする市民生活の情勢を基礎として成長に促進し、経済を振興し、社会を安んずる。

本人を代表し、上記の通り要求します。

記

いのちと暮らしを守る要求書

一 公 寓

- 1 市内各地には市民生活の中心として、公営住宅を建設すること。
- 2 市内各地には市民生活の中心として、公営住宅を建設すること。
- 3 市内各地には市民生活の中心として、公営住宅を建設すること。
- 4 市内各地には市民生活の中心として、公営住宅を建設すること。
- 5 市内各地には市民生活の中心として、公営住宅を建設すること。
- 6 市内各地には市民生活の中心として、公営住宅を建設すること。

二 老 令 保 障

- 1 市内各地には市民生活の中心として、公営住宅を建設すること。
- 2 市内各地には市民生活の中心として、公営住宅を建設すること。
- 3 市内各地には市民生活の中心として、公営住宅を建設すること。
- 4 市内各地には市民生活の中心として、公営住宅を建設すること。

三 肥 土 生 産

- 1 市内各地には市民生活の中心として、公営住宅を建設すること。
- 2 市内各地には市民生活の中心として、公営住宅を建設すること。
- 3 市内各地には市民生活の中心として、公営住宅を建設すること。
- 4 市内各地には市民生活の中心として、公営住宅を建設すること。

四 住 宅

- 1 市内各地には市民生活の中心として、公営住宅を建設すること。
- 2 市内各地には市民生活の中心として、公営住宅を建設すること。

1954年下期分月 朝陽站基礎調查

206.11.16

206.11.16—206.11.16 (206.11.16)

單位(元)

集計表 (現行、206.11.16)

月	本人給	超月給	月	本人給	超月給	集計額			206.11.16(206.11.16)							
						本人給	超月給	計	%	%	比					
炭炭	4	41.920	2.060	内用	4	22.597	1.6202	採炭	48.323	1.917	46.240	115	118	-3		
	5	46.504	3.757		5	27.815	2.0.916	仕込	38.114	1.432	39.546	98	97	+1		
	6	42.287	4.351		6	22.586	2.0.574		直接	40.029	1.622	41.611	103	103	0	
	7	46.800	3.463		7	30.032	2.3.171			内用	27.447	1.023	37.670	94	90	+4
	8	41.801	4.209		8	26.394	2.1.347				採外	26.689	1.004	36.674	91	96
9	45.430	4.157	9	29.377	2.0.839	合計	26.146	4.149	40.295	100		100				
連	265.942	22.797	連	164.801	12.2.669											
平均	42.323	3.833	平均	27.467	2.0.485											
炭炭	4	34.315	2.623	採外	4	22.664	1.2.170	合計	26.146	4.149	40.295	100	100			
	5	38.056	3.391		5	25.744	2.1.745									
	6	40.641	3.167		6	28.116	2.1.809									
	7	40.083	2.823		7	28.709	2.1.085									
	8	35.858	2.744		8	26.327	2.0.375									
9	38.771	2.423	9	28.333	1.8.131											
連	228.684	17.176	連	149.893	12.0.535											
平均	38.114	2.863	平均	26.649	2.0.089											
炭炭	4	36.651	2.757	全給	4	32.467	6.909	合計	26.146	4.149	40.295	100	100			
	5	40.631	3.503		5	36.509	8.817									
	6	41.772	3.534		6	37.760	8.698									
	7	42.152	3.023		7	38.723	8.779									
	8	37.448	3.197		8	34.099	8.543									
9	41.520	2.763	9	37.721	8.034											
連	240.174	18.977	連	216.879	48.780											
平均	40.029	3.163	平均	36.146	8.297											

滋 青 密 談 会 報 告

545. 12. 8.

一 災害の雄略
二 災害の日時
三 災害の場所
四 災害の被害

落 ぼ ん
昭和五年一月二十五日、
新巻佐田氏、
佐 藤 廣 松 一 郎 氏、
廣 田 隆 二 氏、
（元七）

五、災害の概況

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

一、災害の概況
二、災害の被害
三、災害の場所
四、災害の被害

新卷庄口坑二号4-1号大柱头器见取回

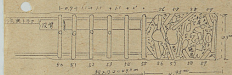
头器发现年月日 昭和46年11月28日 12时40分

发现者 藤岛和隆 29岁 (现亡)

松尾新市 25岁 (现亡)

头器正面图

50/100



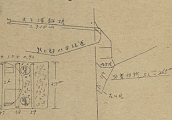
头器侧面图

50/100



头器行线图

50/100



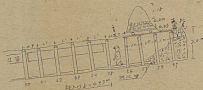
头器背面图

50/100



头器新断面图

50/100



における業務に就事する人。管理職及び臨時雇い（在籍労働者以外のもの）の人と、いずれも就外員の中から選べます（従って、両方選出でよい場合は、就外員とはなりません）。

右側第2年基金は内債・外債共に、この年金を世帯する国民
第2年基金（基金）が、内債・外債の買付があることを証
明するものとして発行するものであって、将来、年金の受給者と
なった人が年金の給付を受けようとするときには、必ずこの証を
「基金」へ提出しなければなりません。

「石炭鉱業年金基金」とは、石炭鉱業年金基金法に基づき設立された石炭鉱業年金を交付とする特殊法人で、政府の監督の下に、この年金に関する一切の業務を行います。

なお、昭和47年に該年金の交付が始まることとなれば、その支給金は、「基金」から受給権者に対して直接送附されます。

東京都千代田区南千代田1丁目4番地
(小塚ビル5階)
電話 東京 (03) 343-0095・8・1000

昭和2年7月、同は、貧民に對する人々の苦境の生活の史記、福祉の向上に資するとともに、貧民に對する富強力の確保に役立てるため、「石炭富強年金基金法」という法律を特別に制定し、厚生年金制度の導導事業である富強とあるばかりのこの貧民であっても、一定年齢以上勤勞した人には、後日厚生年金保険法による給付とは別に、これに上乗して、老給年金等の年金が支給されることとなりました。

石炭鉱業年金の給付には、老齢年金と死亡一時金との2種類がありますが、その給付を受ける資格要件、給付の内容等は、次のとおりです。

昭和42年1月22日以後の5年間を定め、延長20年間(昭和62年1月1日以後の過去50年間のうち)と、これを適宜して20年間(平成11年)に對稱して無償で他二名職した場合、次の表の比率に従って、料率、老給年金が支給されます。

② 昭和46年12月1日の東京裁判開始から起算する人
昭和46年12月1日以前の出発点であるとして、その後に反戦態勢の経験（反証については、昭和46年6月15日の間、猶子・女子については、再出陣を
阻害した）がある人
昭和46年12月1日以後の出発点であるとして、昭和46年12月1日以前の出発点と同日（日のおおむね）であって、昭和46年12月1日以後である人。この反証に
照準する人
昭和46年12月1日以前の出発点であるとして、昭和46年12月1日以後の出発点と同日（日のおおむね）に一致しない人
昭和46年12月1日以前の出発点であるとして、昭和46年12月1日以後の出発点と同日（日のおおむね）に一致しない人

死亡一時金は、次の表の区分に従って、簡便に支給されます。

支 給 形 式	合 計
1. 老齢年金の受給者が死亡した場合は	老齢年金の受給者の死亡年分の平均
2. 受給資格期間を満たした月も満期で受給して、死亡が満期以後に生じれば	既に年金の支給を受けていたとき 老齢年金受給年分の支給額と支給開始の月を付した月の平均

抗内員とは、決議において当該事業委員に任用される学生年金保険の第1種被保険者（以下、抗外員とは、同じく学生年金保険の第1種被保険者又は第2種被保険者（女子）をいいますが、抗外員の場合には、石炭の賦税と緊密な関連がない実態として検査と定める要件、つまり、

福利厚生施設（病院、診療所、クラブ、学生会、学生、等、保護

1 世界に例のない生産増と物価上昇

	紅工業生産	卸売物価	消費者物価
日 本	199	104	129
アメリカ	133	106	114
イギリス	120	115	121
西ドイツ	128	99	113
フランス	125	106	116
イタリア	136	107	112

(2) 63年=100とした68年の指数

(4) エコノミスト各号より

日本の物産 (68年製造業)

日 本	アメリカ	イギリス	西ドイツ	フランス	イタリア
2403	10974	51204	4302	59576	24752
出	1時間50分				
回	イタリアは197年				
64	労働統計調査より円換算				

表上高中の人件費の比率（67年粗付加価値＝100）

資源鋼	U2-ベスター	アラブ・ライオン	八幡製鉄
	45.7	10.0	12.5
電機	U2-0	シャープス	日立
	10.0	6.7	16.0
自動車	U2-0	ファイアット	日産
	20.1	33.3	7.4
化学	デュポン	バイエル	三友化成
	14.3	32.9	9.0

(通産省「世界企業の経営分割」)

4. 外資、技術の導入状況（69記）

件 数	金 額(千円)
政府導入 5834	
資金外資 (1174)	3703505
外国の子 会社、子 会社 611(67年)	
(内株式取得件数)	

B 7797 の燃料費の収益率 (40年)

アメリカ合衆国	西ドイツ	日本	フランス
15・4	10・9	12・9	15・0
イギリス	西ドイツ	フランス	イタリア
7・3	7・0	5・2	5・7

6 労働者の賃金水準

年 数	50-59	60-69	70-79	80-89
—10Y	18.83	4.0	0.0	4.2
10-19	10.55	3.5	5.8	4.8
20-29	8.52	8.5	18.8	10.8
30-39	2.36	7.7	9.0	7.6
40-49	2.56	13.2	19.7	16.7
50-59	0.88	22.8	24.0	21.1
60-69	7.43	24.3	27.8	23.3
70-79	8.43	8.0	10.6	8.6
80-89	9.45	1.6	1.7	1.4
90-99	4.26	1.4	1.3	1.1
不 明	5.0	0.1	0.0	0.2

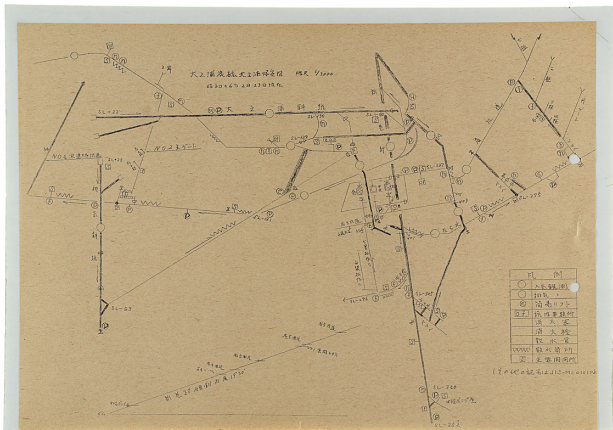
《 45 岁 前 患 肺 癌 者 本 国 人 》

4 兼業漁家の増大

	30	40
康貝瓦門	14543	18536
康貝瓦士士60		
男 16-20吋	95473	87906
20~	4332	6103
女 16-20吋	18421	38005
20~	707	1420
康貝瓦什		
男 16-20吋	32218	26031
20~	1267	1357
女 16-20吋	19967	48074
20~	244	872

D 女子バレーの状況(44年6月)

(製成菜)		
全 国	人共 107.4	平均每碗給 13.4
景	3.2	97
(鮮小菜)		
全 国	人共 65.4	平均每碗給 12.8
景	3.0	11



會社四六年度生產計畫提案

また、三月（五日）松崎の参り、会社は四六区衛生費計出にほつ入費計出、水取計出また次の様に組合に請求する。

天

讀本內卷

て、昭和四年四月一日に群、ロニア一社、及び瑞穂三セツトとし、瑞穂山、東山、西山、三ツ山、

二人前については、現在購入者の一部と想定はできない。

現在藉人微 以同以臨人責

水刃林屋 九九

直隸志書 三五〇

三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

品名	四月	五月	六月
新行の牡丹子(元)	一〇〇八	八八五	八八五
一回出度	四八〇	五五〇	四八〇
一回出度	二五〇六	二二〇六	二五〇六
一回出度	一五〇六	一四〇六	一五〇六
一回出度	五〇二二	四四二二	五〇二二
一回出度	五二二二	四九二二	五二二二
一回出度	三九四	三九四	三九四
一回出度	九八五〇	九八五〇	九八五〇
一回出度	二二〇四	二二〇四	二二〇四

以上の全社報告に対し、組合としては提案内容の、中流の波の勢が井戸にも同様することとあり、関係機関にはかつて慎重に審議さうとし、

すまのしん

日本大正新聞社
編集人 大野 誠
印刷所 東京市神田区
錦町三丁目

NO 20
\$46.427

春斗へ向けて
総力を結集しよう

昭和四六年度採掘計画に伴う要求事項
生契は春斗の前段斗争……
具体的問題は了解点に達す

昭和四六年度採掘計画に伴う要求事項は、人前競争を回避し日に行い、すなわち春斗に、
採掘計画の交渉を成る交渉を要する事だ。

一、合社に一次二次と回差を示して、われわれの希望する内容と見分あり、製法として
も、戦時体制の中で、新案が実現するまで、春斗の交渉は、戦時体制に合わせる事と、戦時体制は、戦時体制の時
に交渉を進めて、二回に及び、は、春斗の交渉は、戦時体制に合わせる事と、戦時体制は、戦時体制の時
に交渉を進めて、二回に及び、は、春斗の交渉は、戦時体制に合わせる事と、戦時体制は、戦時体制の時

したかつて、由緒長い人前競争、あつた春斗の問題は、春斗前段斗争として、合社に交渉し、入札と
する。

了解事項

一、採掘計画について

一、水採掘よりロシナ採掘へ移した者一人につき、五、五〇〇円
二、水採掘よりロシナ採掘へ移した者一人につき、五、五〇〇円
三、水採掘よりロシナ採掘へ移した者一人につき、五、五〇〇円
四、水採掘よりロシナ採掘へ移した者一人につき、五、五〇〇円

一、ロシナ採掘より水採掘へ移した者一人につき、五、五〇〇円

一、水採掘よりロシナ採掘へ移した者一人につき、五、五〇〇円

一、水採掘よりロシナ採掘へ移した者一人につき、五、五〇〇円

一、水採掘よりロシナ採掘へ移した者一人につき、五、五〇〇円

一、水採掘よりロシナ採掘へ移した者一人につき、五、五〇〇円

一、水採掘よりロシナ採掘へ移した者一人につき、五、五〇〇円

一、水採掘よりロシナ採掘へ移した者一人につき、五、五〇〇円

一、水採掘よりロシナ採掘へ移した者一人につき、五、五〇〇円

一、水採掘よりロシナ採掘へ移した者一人につき、五、五〇〇円

一、水採掘よりロシナ採掘へ移した者一人につき、五、五〇〇円

提案 会社

第二次之補の人員 五〇名を

一般掘進として受け入れ

磁区譲受により 展望はかる

第二次之補の南山問題に 四月中旬に予備交渉し 五月末回を期して水いんを閉じることとなつた。

昭和三年五月に開議された分り 従来開議と共に資会社として資人 譲りを受け託出で客を 持て来たが、開議の結果として今日に至り 資人を譲り南山となつた。

したがうと云ふ事は 第二次之補の譲受を仰つて受けて 新大正に譲渡の譲渡を受けることになり 資人の譲渡を受けるに 第二次之補より一般掘進を五〇名 資人譲渡の譲渡を受けることになり 資人を譲り南山となつた。

組合としては 第二次之補の南山に付て 資人の譲渡を受けることであり 又 新大正譲渡開議であるが、資人を譲り南山となつた。

横田 果誠 第五八回臨時総会で 当選のお礼

革新界政友会に 新なる決意で臨むと挨拶

ちのつ

著者 矢野 龍
編輯 矢野 龍
印刷 矢野 龍

No 21

体制を確立して

諸要求を勝ちとらう

S.46.5.4

債金政策、要求の貫徹を期し

中央行動で政府^{及び}資本を追求

俗常不面晤爾大兄は、折に折に現れられ住友の會合の時懇話について、この間は佐賀の社の同族にでなく、全く私生活家な條件で來たのかのと同族めしとの會合は一のものに、お話をなされる後事を希望して、いかにしてこまき度、これにちがついて、今日までは、お二人の生活動とはどの様な一連の要求とあはれていくんだ。

しかし、坪内逍遙が著した『小説神髓』を著した石炭業家佐々木啓祐は、すでに『小説の神髓』に「今日に至るものは現成のもの」として、小説のもののねを以て「一万二千の字に止むとする」外題が、その神髓とあわせて、其の意義を明らかにしている。其の意義は、坪内逍遙の神髓と、其の意義が佐々木啓祐のものと、かゝつてゐる。

した。そのとき、我々の手には、着た、形勢の如何なるものか、に關する資料として、ダニエリが遺言を著し、遺言を現存せしめ、同書に二二〇万の膨張を認めて、其後、四萬七千餘り、十半世紀を同率の上昇に、以後は以上の二倍の割合として、増えるものと、細説が利用せられた。材料をそのようにした。

春斗の前段要求として

生人車步
行手當
提出

人事步行提出
運行手当

目下交涉中

[illegible]

以上三湖の地味として、森谷の嶺より林崎峠まで四ツ木・榎本・池田原成の急激な傾斜を經つて北へ上つた。したがって、四月二日、森谷者の渡河を待たず、五日四日に又一回の支那を越へた。

交彥同春

—— 金柱はたゝちに反論 —— 早急を

余はこれに反論——早急な解決を図る

[illegible]

第三、入港の人員受入れについて、執務委員会が五〇名の受入れを確保する。――条件問題について、今後討議

確證 Ⅱ 条件問題について今後討議

[illegible]

日本共産党本部内
編纂人 佐野 謙
発行 佐野謙太郎
印刷 佐野謙太郎印刷所
東京市神田区

NO. 23

春斗諸要求・山元三要求を
獲得するための奮力をあげよう！

昭和6.5.19

山元要求(生活、人車)

会社、検討を約す

組合、春斗と同時解決を目指す！

今年の春斗は、その前段斗争として「戦費、一戦をかける山元」を組合が主張することになった。若者組合の組合、その斗争の最終的はとり分として連日の組合で組合を合併に及ぼすようである問題を組合が一歩進歩することと連絡し、併せて三般も裏切った。

即ち、組合では、先産基協会の改訂、人事進行の発展、歩行者の増強の三項目を会社に要求、五月五日より交渉を進めてきたところである。要求内容を協議や年度計画に照準する問題である交渉はきつかり難航したが、一日目のトツ合談の中を会社が「前例として検討することと約束したため、春斗と同時的は前進から、春斗要求と同時に解決することと一七日の臨時組合を確約した。

山元探訪の三要求については、五月四日以来小規模に進展してきたが、四般が各別条件に關する問題をめぐり、会社は組合の要求に対して反論をくり返すりやを條件的に交渉は進展しなかった。とくに先産基協会のについては一歩も進まずうとしかかった。

一方組合は三要求の前後斗争である以上、五月二日より解決をしなければならぬ。五月七日の終会で三般(スト、組合、先産基)を海ね、会社に押しつけ解決を進めたところ、一日目にトツ合談の導入があり、会社は組合の要求に対して、前例通りに検討することと約束したのみである。

組合が春斗諸要求と同時に解決にあつては、必ず五般のストライキが二日からあり、春斗より前に時間的な余裕がつかないこと、人事進行については時間的、人事進行について条件的にあなければならぬこと、会社のいうところ「前例」とは実態を意味すること、若くは別断した場合、同時解決の方が内容的に有利にすると判断したためである。したがって、今次春斗において各別斗争の組合は春斗諸要求の地に山元探訪の三要求も併せて進めようとした。そのことはストライキに突入するにせよ、あえて待つれば益をかせがたである。

五、兩度経賄買金について

佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。

六、春斗、謝安永へ借金返済について

佐賀の新聞を見る。

以上の新聞より、米屋の経賄買金に關する。

佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。

佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。

佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。

一、文房を巡る

佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。

佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。

佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。

二、計いの部

佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。

佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。

佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。

佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。

佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。佐賀の米屋の経賄買金に關する新聞の報告を見る。

確
認
事
項

昭和四六年度経費資金に關し、次の通り、確認する。
一、本人給に一方當り、次の半額額を扣除する。

一、本人給に二方あり、次を系列額を扣除する。

永四員二二二四(廢止打) 永外員二二二四(廢止打)

[illegible]

三、差額金については、加入者等として、積立金として払い戻すに要する。

國、場、金、銀、銅、鐵、

2019年10月10日

18

1. 基準一打為二二二四（税込）

山直隸天鎮縣一五五四 基座銘六七四

因開機大基是給 八七四板能給一三五四

(校誌館のウチ一棟一〇〇坪)

分裝龍崎修正後

又見續金瓶詞話

表題を、ゆるい筆で書くが、活動紙は又計算とし、結果は又次の平紙に反転し

獎金協正羅諾華獎中

3. 水採判 照給 一座より地味正 水採 田 内 水

4. 基準外賃金（課税を付したものの割）

山> 騎 蘇 勇 切 摩 西。

4 特選時表し寺也。特選時表し一回につき境内重 九九四 院管更 八田田

ロ、焼酎入坑 午後、坑内に於ける紀伊酒造場以上の場合 一・二・三四

飛母に於ける繁華三時前後上四時前後の顧客 六六四

五、その他編輯取組に、改善を計つたものの

4) 指導員補助費の基金（月費指導員を

豫章白 一 八六八四 書道松條目 三一 九六四 結釋松條目 三

(2) 一方のものは合符機「本」の特殊な種の「ハ」を、七段に二より三を

株、夏ノ四三〇圓　風連ノ二八〇圓　松原ノ一五〇〇圓

内國 一七〇圓 外國 一、一〇〇圓

◆ 秘蹟通釈金に關し次の通り確誤す

1. 基礎屋（平均高）の残打寸、同様である。0.00m（山頂）

(1987) *W. H. Freeman*.

但し、自覚命令を以て、不都合解雇については、現行通例（勤労者保護 六〇、〇

円)とする。

1. The first step in the process is to identify the problem or issue that needs to be addressed. This involves gathering information and understanding the context of the problem.

種別別賃率標準、技能給付率額及び定額一覧表

種別	職 名	賃率標準 (1046円)	技能給付率額 (679円)	定額 (741円)
技 術 員	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 825 B 805 C 785	(556円) (523円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
技 術 員	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+
	操 縦 士	A 875 B 855 C 785	(589円) (556円) (496円)	+

注 技能給付率額のうち、水力関係の操縦士、水力輸送については船型に對する時間別賃率を含む。

兵隊士のうち、125(四輪車)の賃金は夫々 $\frac{1.8}{9}$ を加給した金額である。(50)。

2. 参 考 資 料

山崎博士の「四角七角」を参照し、この図とす。

の賃率額、四角七角、四角七角、一日より。

3. 参 考 資 料

山崎博士の「四角七角」を参照し、この図とす。

の賃率額、四角七角、四角七角、一日より。

の賃率額、四角七角、四角七角、一日より。

4. 参 考 資 料

山崎博士の「四角七角」を参照し、この図とす。

おのころ

日本大正新聞社
(東京) 支店 横
徳島支店 手取店 徳島
徳島支店

No. 28

参議院全口見
地方は共々勝ち
とさう!!

26.6.11

五月分注産奨励給付人配分決定!!

振興費 一三〇以上 九七四社 振興費 一三〇以上 八八四
四四四 天 一五〇以上 一六九四 振興費 一三〇以上 五六四
一 振興費 一五〇以上 一六九四 振興費 一三〇以上 八七四

四月五月分の差額金の支払と

請負給のRについて!!

八 昭和四年四月より、各地方の振興給の支払は、Rに依りて

振興費 各地方の振興給の支払は、Rに依りて

振興費 各地方の振興給の支払は、Rに依りて

振興費 各地方の振興給の支払は、Rに依りて

振興費 各地方の振興給の支払は、Rに依りて

振興費 各地方の振興給の支払は、Rに依りて

振興費 各地方の振興給の支払は、Rに依りて

サイドタンプローダー標作について!!

ニッポンの各地方、各地方の振興給の支払は、Rに依りて

ニッポンの各地方、各地方の振興給の支払は、Rに依りて

昭和四年四月より

昭和四年四月より

昭和四年四月より

昭和四年四月より

(おのころ)

参 議 進 全 國 區 所 村 別 得 票

[illegible]

	源泉採取	官田	小作	若宮	新平	直方
山野	425.618	49.85	17.77	146.6	239.08	4113
創水	410.791	38.28	16.08	181.7	211.9	7028
柳田	303.315	7.89	54.6	71.5	56.3	2397
いさ山	313.027	16.37	10.94	26.7	185.0	2118
かとう	276.68	17.6	14.5	7.6	197	80

地方区